

わかやま 県議会 だより

2月定例会号

No.32 平成28年[2016]
5月15日発行(年4回発行)

主な記事

- 2~3面 平成28年2月定例会の概要
- 4面 議会活動の紹介
県議会からのお知らせ



しま せいいち
嶋 清一

戦場に散った不世出の大投手
1920(大正9)年に和歌山市生まれ、海草中学校(現:向陽高等学校)に入学し、野球部に入る。投手として活躍し、左腕からくり出される速球は150キロを超えたとされ、1939(昭和14)年の第25回全国中等学校優勝野球大会では、5試合完封、準決勝決場でノーヒットノーランという快挙で優勝を成し遂げる。その後、明治大学に進学したが、1943(昭和18)年に学徒動員により戦地にかり出され、終戦間近の1945(昭和20)年3月に24歳で戦死。

常任委員会活動レポート

パート2

6つの常任委員会のうち、前号に引き続き3つの委員会の活動を紹介します!

総務委員会



総務委員会では、平成27年10月19日に過疎地域での買い物弱者対策に取り組む県内企業を訪問し、調査を行いました。

現在、過疎地域においては店舗の廃業や公共交通の統廃合等により移動手段を持たない高齢者等の日常生活に非常に不便な状況となっています。

この企業では、住民支援の1つとして移動手段がなく買い物に不便を感じている消費者のニーズに対応するため、生鮮食品の移動販売車の運行や無料の買い物バスの運行の事業を行っています。

これらの事業を実施する中での、事業者側から見た問題点や事業拡大の可能性等について調査を行いました。

委員会としては、今回の調査で得た貴重な情報をもとに、今後とも過疎化、少子高齢化など人口減少問題等の対策に取り組んでいきます。

福祉環境委員会

福祉環境委員会では、平成27年10月7日に県立医科大学附属病院の調査を行いました。

医科大学附属病院まで来院しなくても、近くの医療機関で専門医のアドバイスを受けることができる遠隔医療の状況と、4本の腕を持ったロボットを遠隔操作して手術を行うダヴィンチサージカルシステムや放射線ががん細胞にピンポイントで均一に当てることで患部以外への放射線照射を最小限に抑えることができる新リニアック装置など、実地に調査を行いました。

これらの先進的な医療設備や取組について、病院の皆さんから説明を受け、和歌山県民のための医療について意見交換を行いました。

委員会としては、県民が高度な医療が受けられるように今後とも各方面と協力しながら取り組んでいきます。



農林水産委員会



農林水産委員会では、平成27年11月30日~12月1日及び12月15日に県内調査を行いました。

今回の調査では、所管の試験研究機関である、果樹試験場(有田川町)、うめ研究所(みなべ町)、かき・もも研究所(紀の川市)、農業試験場(紀の川市)、暖地園芸センター(御坊市)、畜産試験場(すさみ町)、養鶏研究所(日高町)、林業試験場(上富田町)、水産試験場(串本町)、内水面試験地(紀の川市)の10カ所全ての調査を行いました。

各々の試験研究機関において、職員体制、試験研究・技術指導の概要等について、関係者からの説明・意見交換の後、各試験研究現場の視察を行いました。

本委員会としては、今回の調査で得た貴重な情報をもとに、今後とも、所得の安定化や担い手の確保、TPP対策、鳥獣害対策等、本県の基幹産業である農林水産業の一層の振興と発展のため取り組んでいきます。



かき・もも研究所

旧和歌山県議会議事堂開館式典

明治31年に建築された旧和歌山県議会議事堂が、岩出市根元に、当時の姿に復元整備され、新たな文化施設として開館しました。旧議事堂は、木造和風の議事堂として我が国現存最古であり、民主主義の発展を刻み続けた県政の殿堂として歴史的に価値のある建造物です。

4月1日(金)に、旧議事堂開館式典が開催され、前芝雅嗣議長から「旧議事堂の新たな門出にあたり、更なる県勢の発展を図り、県民の期待に応えるため、情熱と英知を結集して、県議会の使命の達成に邁進する」との記念宣言がなされ、出席した全議員の賛同により採択されました。

